

2020年10月7日

近鉄不動産株式会社

あべのハルカス美術館 展覧会 「リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展」、「グランマ・モーゼス展」、 「ポーラ美術館コレクション展」開催決定！

日本一高いビル「あべのハルカス」16階の「あべのハルカス美術館」では、日本美術や西洋美術、現代アートなど多彩な展覧会を開催しています。

2020年は9月より「奇才 江戸絵画の冒険者たち」を開催中、11月より「三沢厚彦 ANIMALS IN ABENO HARUKAS」の開催を予定しております。（既報のとおり。詳細は別紙参照）上記2本の展覧会に続き、新たに2021年前半に開催する展覧会が決定しましたのでお知らせします。

今後もより魅力的な都市型美術館として多くのお客様にお越しいただけるよう運営してまいります。

「ヨーロッパの宝石箱 リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展」 侯爵家の宮廷を彩る秘蔵の名画と華麗な陶磁器

会 期：2021年1月30日（土）～2021年3月28日（日）
共 催：産経新聞社、関西テレビ放送

開 催 趣 旨：オーストリアとスイスに挟まれた独立国家の君主であるリヒテンシュタイン侯爵家は12世紀以来の長い歴史を持ち、歴代にわたる美術作品の収集によって高い名声を得ています。ルーベンス、クラナハ(父)、ヤン・ブリューゲル(父)ら侯爵家秘蔵の油彩画63点をはじめ、華麗な宮廷の空間を彩った陶磁器など全126点のコレクションにより、優美なヨーロッパの貴族文化の香りをご堪能ください。



①フェルディナント・ゲオルク・ヴァルトミュラー
《磁器の花瓶の花、燭台、銀器》1839年
©LIECHTENSTEIN. The Princely Collections,
Vaduz-Vienna



②ペーテル・パウル・ルーベンスと工房
《ペルセウスとアンドロメダ》1622年以降
©LIECHTENSTEIN. The Princely Collections,
Vaduz-Vienna

「生誕160年記念 グランマ・モーゼス展 素敵な100年人生」

「人生100年時代」の今こそ、観てほしい展覧会

会 期：2021年4月17日（土）～2021年6月27日（日）

共 催：朝日新聞社、MBS、東映

開 催 趣 旨：アメリカ東部の農家の主婦だったグランマ・モーゼスことアンナ・メアリー・ロバートソン・モーゼス（1860-1961）は、70代になり本格的に絵を描き始めます。身近な田園風景や日々の暮らしを素朴な筆致で描き、101歳で亡くなるまで国民的画家として愛され続けました。日本で16年ぶりの回顧展となる本展は、「人生100年時代」を豊かに生きるためのヒントにもなり得ることでしょう。



③アンナ・メアリー・ロバートソン・“グランマ”・モーゼス
《アップル・バター作り》1947年
個人蔵（セント・エティエンヌ・ギャラリー、ニューヨーク寄託）
©2020, Grandma Moses Properties Co., NY



④アンナ・メアリー・ロバートソン・“グランマ”・モーゼス
《村の結婚式》1951年
ベニントン美術館蔵
©2020, Grandma Moses Properties Co., NY

「ポーラ美術館コレクション展」

モネ、ルノワールからピカソ、シャガールまで

会 期：2021年7月9日（金）～2021年9月5日（日）

共 催：MBS、毎日新聞社、公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館

開 催 趣 旨：2002年9月、箱根・仙石原に開館したポーラ美術館のコレクションは、西洋絵画、日本の洋画、日本画、版画、彫刻、東洋陶磁、日本の近現代陶芸、ガラス工芸、化粧道具など多岐にわたり、総数は約1万点におよびます。本展はポーラ美術館の珠玉の西洋絵画コレクションから精選した74点の絵画に化粧道具を加え、総数86点の作品をご紹介します。



⑤フィンセント・ファン・ゴッホ
《ヴィゲラ運河にかかるグレース橋》1888年



⑥ピエール・オーギュスト・ルノワール
《レースの帽子の少女》1891年

※上記①～⑥の画像データは貸出が可能です。ご希望の方はお問合せください。

また、事前に原稿の確認が必要になります。

（画像の使用は、本展覧会をご紹介いただく媒体に限ります。ご使用後は破棄をお願いします。）

※開催1ヶ月前を目処に詳細なプレスリリースを皆様のもとへお送りします。

～ あべのハルカス美術館 2020年10月～2021年9月 展覧会ラインアップ ～

	10月	11月	12月	2021年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
展覧会名	I. 奇才 —江戸絵画の冒険者たち—		II. 三沢厚彦 ANIMALS IN ABENO HARUKAS		ヨーロッパの宝石箱 リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展		生誕160年記念 グランマ・モーゼス展 素敵な100年人生			ポーラ美術館コレクション展 モネ、ルノワールからピカソ、シャガールまで		
会期	9月12日(土) ～ 11月8日(日)		11月21日(土) ～ 2021年1月17日(日)		1月30日(土) ～ 3月28日(日)		4月17日(土) ～ 6月27日(日)			7月9日(金) ～ 9月5日(日)		

【詳細】

I. 奇才 —江戸絵画の冒険者たち—

会 期：2020年9月12日(土)～2020年11月8日(日)

共 催：読売新聞社

開 催 趣 旨：江戸時代には、従来の常識を打ち破り、斬新で個性的な表現に挑んだ「奇才」と呼ぶべき絵師たちが、全国で活躍していました。昨今注目を集める伊藤若冲、長澤蘆雪、曾我蕭白、歌川国芳ら、過激で強烈な個性を放つ絵師だけでなく、尾形光琳や円山応挙、葛飾北斎など、全国から35人の奇才絵師を集め、その個性溢れる作品を選びすぐり紹介します。



葛飾北斎「東町祭屋台天井絵 龍図」
桐板着色 小布施町東町自治会蔵（北斎館寄託）
[展示期間] 全会期



鈴木其一「紅葉狩図風」
紙本着色 個人蔵（滴翠美術館寄託）
[展示期間] 全会期



墨江武禪「夏季美人図」
絹本着色 個人蔵
[展示期間] 10/13～11/8

II. 三沢厚彦 ANIMALS IN ABENO HARUKAS

会 期：2020年11月21日（土）～2021年1月17日（日）

共 催：読売新聞社、読売テレビ、美術館連絡協議会

開 催 趣 旨：三沢厚彦（1961年京都生まれ）は、日本を代表する現代木彫家のひとりです。

2000年から制作を開始した「ANIMALS（アニマルズ）」のシリーズは、さまざまな動物たちを等身大で存在感豊かに表現し、子どもから大人まで幅広い人気を集めてきました。地上80mの高さに位置する都市型美術館ならではの空間で、三沢の生み出すアニマルたちがどのような表情をみせてくれるのか、ぜひご期待ください。



《Animal 2018-01》2018年
樟、油彩 撮影／大沼ジョージ
©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery



《Animal2016-01》2016年
樟、油彩 撮影／渡邊郁弘
©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery

【アクセス】

【開館時間】

火～金： 10:00 - 20:00
月土日祝： 10:00 - 18:00
*入館は閉館30分前まで

【休館日】

一部の月曜日、年末年始
展示替え期間(不定期)
*展覧会により休館日は異なります。

【所在地】

〒545-6016
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階

【最寄駅】

近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅 直上
JR各線「天王寺」駅
地下鉄御堂筋線「天王寺」駅
地下鉄谷町線「天王寺」駅
阪堺上町線「天王寺駅前」駅 よりすぐ



以上